

まち・ひと・しごと創生 石岡市総合戦略

平成 27 年 10 月策定

平成 29 年 12 月改訂

石岡市

～目次～

1. 「まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」とは.....	1
(1) 策定趣旨.....	1
(2) 総合戦略の位置づけ.....	1
(3) 総合戦略の期間.....	1
(4) 総合戦略の運用.....	1
2. 総合戦略の基本的な方向性.....	2
(1) 総合戦略の基本目標.....	2
(2) 基本目標について.....	2
基本目標1 市の強みを活かした安定した雇用の創出.....	3
基本目標2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる.....	7
基本目標3 若い世代の結婚，出産，子育ての希望をかなえる.....	11
基本目標4 時代に合った地域をつくり，安心して心豊かな暮らしを守る.....	14

1. 「まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」とは

(1) 策定趣旨

本市の人口は、平成 17 年の合併時から 5 千人以上減少しており、特に若い世代の転出が多くなっています。今後、少子化と高齢化の進行とともに生産年齢人口の減少が見込まれ、市の活力維持を図る上では喫緊の課題です。そのため、本市では平成 26 年 2 月に「石岡ふるさと再生プラン」（以下「ふるさと再生プラン」という。）を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり「ふるさと石岡」を引き継いでいくための施策を実施してきました。

このような中、国においては、人口減少問題を国の重要課題として位置づけ、この問題に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を築いていくため「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、国と地方を挙げた「地方創生」の取り組みが進められています。

国の掲げる「地方創生」と、本市における豊かな地域資源を活用した「ふるさと再生」は同一の方向性のものであり、ふるさと再生プランを着実に推進していくことが本市の地方創生につながることから、本市における総合戦略はふるさと再生プランに掲げた取り組みのうち、「まち・ひと・しごと」の創生に関する施策を絞り込み、本市の実情に応じた今後 5 年間の「目標」「施策の基本的な方向」「具体的な施策」を定めた計画として策定し、実効性のある取り組みを進めていきます。

(2) 総合戦略の位置づけ

この「まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法第 10 条に基づく、石岡市の「まち・ひと・しごと」の創生に関する基本的な計画として位置づけます。

また、「地方創生」と、本市における豊かな地域資源を活用した「ふるさと再生」は同一の方向性のものであることから、ふるさと再生プランに掲げた取り組みのうち、「まち・ひと・しごと」の創生に関する施策を絞り込み、本市の実情に応じた今後 5 年間の「目標」「施策の基本的な方向」「具体的な施策」を定めたものとして策定します。

(3) 総合戦略の期間

総合戦略の期間は平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

(4) 総合戦略の運用

効果的な戦略の運用のため、戦略に掲げた施策については着実に実行するとともに、各施策について重要業績評価指標（KPI）を設定し、外部有識者会議での効果検証を実施し、検証結果を踏まえた施策の見直しをいたします。

2. 総合戦略の基本的な方向性

(1) 総合戦略の基本目標

現在、石岡市では、少子高齢化に伴う人口の自然減に加え、働く世代を中心とした人口の社会減が生じています。この厳しい現状を真摯に受け止め、「ふるさと再生」を達成するため、人、歴史、自然などの地域資源を十分に活用した施策を実行していきます。

働く世代の定住のためには、働く場所の確保が必要であり、本市の強みを活かした産業の振興を図る必要があります。また、今後、人口減少による消費の縮小が見込まれることから、市の魅力を活かした交流人口の拡大など、新たな人の流れを創り出す必要があります。

さらに、少子化に歯止めをかけるため、希望する人が安心して結婚、妊娠、出産、子育てができる環境づくりを進めていく必要があります。

これらの施策を着実に実施し、本市の人口減少に歯止めをかけていくとともに、今後、数十年にわたり人口の減少が継続することが見込まれているため、将来にわたり住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らしていくことができるよう、時代に合った地域づくりをしていくことが必要となります。

これらのことから、総合戦略における基本目標を以下のとおり定めます。

総合戦略の基本目標

基本目標1 市の強みを活かした安定した雇用の創出

基本目標2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

基本目標3 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る

(2) 基本目標について

石岡市の総合戦略における基本目標を達成するため、講ずべき施策を整理し、数値目標を設定します。数値目標については、国や県の総合戦略を勘案し、設定をしています。

また、講ずべき施策については、国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を踏まえ効果的に推進するとともに、重要業績評価指標（KPI）を設定し、外部有識者会議での効果検証を踏まえた見直しを実施していきます。

基本目標 1 市の強みを活かした安定した雇用の創出

(1) 講ずべき施策の基本的方向性

1) 企業誘致と就職支援

石岡市は都心から 70km 圏に位置し、充実した交通インフラが整備されています。本市においては、若者の就職時や大学進学時に転出が多い状況となっていることから、市内および近隣で就職をしやすい環境づくりのため、企業誘致や就職支援の拡大に取り組みます。また、大学卒業後に戻ってくる若者の数を増やすため、東京圏に通勤しやすい環境づくりや起業支援に取り組みます。

2) 農林業の振興による雇用の創出

本市は肥沃で広大な農地を有し、大都市近郊という立地条件にも恵まれ、首都圏で評価の高い農畜産物を産出しています。しかし、本市の農業従事者は 65 歳以上が約半数を占めており、農林業従事者の若返りを図るため、新規就農(林)者の受入に取り組みます。また、農業の 6 次産業化や農産物のブランド化に取り組み、農業従事者の収入の増加に取り組みます。

3) 商業の振興と中心市街地の活性化

かつて県内第 2 の商都といわれた石岡市の中心市街地は、郊外への大型商業施設の立地や、東日本大震災の影響により、空き店舗等も目立ちます。

このような状況を改善するため、賑わいの再生・都市機能の充実などに取り組むとともに、歴史や文化を活かした、魅力的なまちづくりに取り組みます。

(2) 数値目標

指標名	指標の説明	単位	現状値	目標値
有効求人倍率	ハローワーク石岡管内の有効求人倍率	倍	0.71	1.00

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

1) 企業誘致と就業支援

① 企業誘致の推進

工業団地をはじめとした企業集積や交通の利便性、豊かな自然環境を生かし、未利用地への企業誘致を図るとともに、自然の中に立地を求める企業等の誘致を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)：企業誘致件数：5件 (5か年分の累計)

- (具体的な事業)・企業誘致可能性調査事業
- ・企業誘致推進事業
 - ・企業誘致雇用促進奨励事業

② 就職しやすい環境づくり

企業面接会や説明会、情報提供等を行うことにより、有能で多様な若年層の就業ニーズと、地元企業の採用ニーズのマッチングを行い、地元企業の魅力発信及び就業環境の向上を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)：就職支援による就職者数：

11人 (H26) → 100人 (5か年分の累計)

- (具体的な事業)・就職支援事業

③ 起業支援施策

石岡市内での新たな起業や新たな産業の育成を図るため、起業・創業に向けた様々な支援を行い、ベンチャー企業等の育成に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：新規起業数：27件 (5か年分の累計)

- (具体的な事業)・起業支援事業 (SOHO 等への空家活用)

◀ 検討施策 ▶

○ 就業支援施策

民間のノウハウを活用した、職業訓練等の就業支援施策について、雇用政策と連携した取り組みについて検討します。

○ 研究・開発機関等の誘致

大学卒業後の若い世代の石岡市へのUターンを促進するため、大学卒業者の就職の受け皿となる研究・開発機関等の誘致や、既存立地企業の研究・開発機能の増設促進等について検討します。

2) 農林業の振興による雇用の創出

①新規就農（林）者の育成・確保

豊かな自然環境を背景とした少量多品目生産や果樹産地，有機農業など特徴ある農業を継続発展させるため意欲ある就農者の育成，法人等の誘致を進めます。

重要業績評価指標（KPI）：新規就農者数：30人（5か年分の累計）

（具体的な事業）・新規就農者対策支援事業

②農産物のブランド化の推進

豊富な農産物を活かし、「儲かる農業，持続可能な農業」の実現に向け，商品開発，販売促進に取り組み，産地の活性化，農業分野の雇用拡大を図ります。

重要業績評価指標（KPI）：高品質の商品や加工品づくり：15品（5か年分の累計）

（具体的な事業）・農力アップ推進事業
・果樹・園芸の産地改革

③農業の6次産業化の推進

地域資源を活用した新たな農業スタイルを創出し，雇用の拡大と農業所得の向上，女性やシニア世代の起業促進を図ります。

重要業績評価指標（KPI）：6次産業化に係る相談支援等件数 10件（5か年分の累計）

（具体的な事業）・6次産業化推進事業

＜検討施策＞

○農地利用の集積集約化の推進

新規就農の促進等に大きな効果が見込まれるため，農地利用の集積集約化を促進する取り組みを検討します。

○森林資源の整備・活用

貴重な資源である森林を保全し，有効活用するため，森林組合などと協力しながら森林の再生・整備を促進，里山整備体験など新たな取り組みを検討します。

3) 商業の振興と中心市街地の活性化

①まちづくりの担い手の育成

市民のまちづくりへの参画意欲や気運の醸成のため、まちづくりの担い手育成に取り組めます。

重要業績評価指標 (KPI) : 卸売業・小売業事業所数 :

784 事業所 (H24) → 784 事業所 同程度を維持 (5年後)

(具体的な事業)・まちづくりセミナーの実施

・中心市街地活性化事業補助金

②空き店舗への出店促進

中心市街地の賑わいの再生のため、空き店舗の活用促進を図り、魅力的なまちづくりに取り組めます。

重要業績評価指標 (KPI) : 空き店舗出店件数 : 10 件 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・空き店舗等活用支援事業

《検討施策》

○集客力のある施設の誘致

集客力のある民間施設は、市街地の活性化に効果的であるため、誘致の可能性等について検討します。

基本目標 2 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる

(1) 講ずべき施策の基本的方向性

1) 交流人口の拡大

朝日トンネルの開通以降、沿線の交通量や観光に訪れる方が増加しています。また、観光ニーズ及び消費行動も多種多様化するなど、市の観光を取り巻く環境が大きく変化しています。

観光振興計画に基づき、観光資源の活用や特産品を活かした魅力アップと効果的な情報発信により交流人口の拡大に取り組みます。

2) 本市への移住の推進

石岡市は、東京から1時間圏内にありながら、筑波山をはじめとする山々に囲まれた自然環境豊かな地域です。また、肥沃で広大な農地を有し、首都圏で評価の高い農畜産物を産出しています。

これらの地域資源、地域産業を活用し、田舎体験やふれあい交流を実施し、戦略的に情報発信をすることで、東京圏との交流を深め、二地域間居住や移住の促進を図ります。

(2) 数値目標

指標名	指標の説明	単位	現状値	目標値
観光入込客数	市内観光施設来客者数	万人	131	150
移住者数	総合戦略に基づく施策の実施により移住をした人数	人	—	10

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

1) 交流人口の拡大

① 観光交流推進事業

東京方面やつくば市からの交通利便性が格段に向上しています。市の魅力である、豊かな地域資源を活用した観光交流の活性化のため、観光資源の魅力アップと観光交通手段の充実を図ります。

重要業績評価指標 (KPI) : 来客者数

茨城県フラワーパーク 175 千人 (H26) → 250 千人 (5年後)

やさと温泉ゆりの郷 200 千人 (H26) → 220 千人 (5年後)

石岡のおまつり 478 千人 (H26) → 600 千人 (5年後)

(具体的な事業)・朝日トンネル経由バス路線の試験運行

- ・東京圏等観光 PR 事業
- ・観光拠点の魅力アップ
- ・スポーツツーリズムの構築 (ネイチャースポーツ)
- ・観光メニュー・おもてなし機能の拡充

② 観光情報発信事業

里山文化を活かした交流・体験, 歴史・文化を活かしたまちなか観光など, 本市の魅力を広く PR し, 入込観光客数の増加と地域の経済活性化を図ります。

重要業績評価指標 (KPI) : 観光案内所利用者数 :

11,227 人 (H26) → 20,000 人 (5年後)

(具体的な事業)・観光情報誌の発行

- ・東京圏観光 PR 事業
- ・観光案内所機能充実事業
- ・観光映像コンテンツ作成事業
- ・戦略的情報発信

③広域観光の推進

近年観光客の増えている筑波山や、新たな観光客の玄関口となっている茨城空港などを起点に、近隣市町村と協力し、互恵的な広域周遊観光メニューをさらに充実させます。

重要業績評価指標（KPI）：150万人（5年後）

（具体的な事業）・花の回廊事業

- ・周遊観光ルートの開発
- ・観光案内所機能充実事業
- ・観光映像コンテンツ作成事業
- ・観光資源ネットワーク化推進事業
- ・ジオパーク推進事業
- ・自転車を活用した地域活性化
- ・観光振興・地域活性化にむけた道路整備

④地域ブランドの確立とPR

本市の観光資源である里山文化，歴史資源，食，酒，工芸等の魅力を認知し，興味・関心を抱いてもらえるよう，石岡ブランドの確立とPRを図ります。

重要業績評価指標（KPI）：石岡ブランド推奨マーク制度の確立（H29）

（具体的な事業）・食と酒をテーマとしたイベント開催

- ・飲食店・土産品等の拡充
- ・石岡ブランドの情報発信（推奨マーク）

＜検討施策＞

○新たなツーリズムの推進

地域資源を活用した交流人口拡大施策として，新たな視点を持ったツーリズム（ヘルス・ジオ・ペット等）について検討します。

2) 本市への移住の推進

①東京圏交流事業

本市の豊かな地域資源，地域産業を活用した田舎体験やふれあい交流を実施し，東京圏との交流を深め，二地域間居住や移住の促進を図ります。

重要業績評価指標（KPI）：東京圏からの田舎体験ツアー等の参加者

：300人（5か年分の累計）

（具体的な事業）・東京圏交流事業

- ・ふれあい交流イベントの開催

②通勤・通学に対する支援

本市は、東京から 1 時間圏内にあり、JR 常磐線や高速バスなどの交通手段が充実しています。これらの強みを活かし、転出の抑制と移住の促進を図るため、通勤・通学しやすい環境づくりに取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：支援により転出抑制につながった人数 50 人
(5か年分の累計)

(具体的な事業)・通勤通学費用助成事業

③地域おこし協力隊

本市の豊かな地域資源、地域産業を活用した田舎体験やふれあい交流などの各種の地域協力活動や地域の魅力発見、地域ブランドの向上などの活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)：地域おこし協力隊員数：5 人 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・地域おこし協力隊の導入

④空き家の利活用

居住環境の整備改善や地域の活性化、定住の促進に資するために、空き家住宅又は空き建築物の利活用に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：空き家活用件数：25 件 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・空き家活用事業
・空き家バンクの推進

⑤定住促進に係る住宅への助成

定住の促進に資するために、市内に住宅を建築する市民や若い世代の転入者に対する支援に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：市内における持家の着工件数
209 件 (H26) → 300 件 (5年後)

(具体的な事業)・木の住まい助成事業
・住まいづくり推進事業

《検討施策》

○定住促進に係る専門部署の設置

定住促進や市の PR をワンストップで実施する窓口の検討をすすめます。

基本目標3 若い世代の結婚，出産，子育ての希望をかなえる

(1) 講ずべき施策の基本的方向性

1) 結婚しやすい環境づくり

国の合計特殊出生率が長期的に低下している背景には、未婚化や晩婚化、晩産化の進展があると指摘されています。結婚を望まれる方に対して、出会いの場を提供し、結婚しやすい環境づくりに取り組みます。また、結婚した後に、本市に住んでいただくために、結婚後の生活の支援を実施します。

2) 安心して妊娠・出産ができる環境づくり

晩婚、晩産時代においては、より一層の妊娠、出産しやすい環境づくりが求められます。

働きながら安心して妊娠・出産ができるよう、企業の雇用環境整備を推進し、不妊に悩む夫婦の不妊治療の支援に取り組みます。

3) 子育て支援の充実

子どもの健康や子育てに要する費用の支援など、様々な事業に積極的に取り組んでいます。また、保育所の待機児童数もなく、子育て環境が整備されています。

少子化と多様化する子育て需要に対し、安心して子どもを生み育てやすい環境を整え、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。

4) 教育環境の充実

児童・生徒が健やかに育ち、豊かな心と生きる力、確かな学力を身につけられるよう未来の担い手育成に努めます。

また、地域と連携し、児童・生徒がいきいきと学べる創意と活力に満ちた学校づくりに取り組み、子育て世代に魅力的なまちづくりを目指します。

(2) 数値目標

指標名	指標の説明	単位	現状値	目標値
合計特殊出生率	合計特殊出生率の向上	人	1.35	1.50

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

1) 結婚しやすい環境づくり

① 出会いの場提供

結婚の意欲はあるけれど出会いの機会が少ない独身男女に出会いの場を提供し、結婚のきっかけづくりに取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：出会いの場の提供による婚約成立数

H26 年度 8 組 → 50 組 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・広域的な結婚支援事業

- ・結婚相談所運営事業
- ・民間団体等への支援

② 結婚後住みよい環境づくり

結婚後に安心・快適な生活を送り、継続的に石岡市に住んでもらう機運を育てるための新婚世帯への生活支援の他、未就学児のいる子育て世帯への生活支援に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：新婚世帯家賃助成件数：300 件 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・新婚世帯家賃助成事業

2) 安心して妊娠出産ができる環境づくり

① 不妊治療の支援

不妊治療のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精 (特定不妊治療という) について、治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)：不妊治療助成件数：250 件 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・不妊治療費助成事業

② ワークライフバランスの向上

育児休業や育児短時間勤務などワークライフバランスの実現に向けて取り組む企業を支援し、企業の雇用環境整備の推進に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：セミナー等への参加者数：500 人 (5か年分の累計)

(具体的な事業)・ワークライフバランス支援事業 (働きやすい環境づくり)

《検討施策》

○産科医の確保

安心して出産のできる環境を整える必要があるため、産科医の確保など、医療体制の向上について、関係機関への働きかけをします。

3) 子育て支援の充実

①子育て費用の軽減

子どもの育成に係る費用を支援することにより、子育てしやすい環境を整え、少子化の抑制に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：すくすく赤ちゃんクーポン

事業助成件数：2,500 件（5か年分の累計）

(具体的な事業)・すくすく赤ちゃんクーポン事業
・子育て費用の軽減

②保育環境の充実

多様化する保育需要に対応した子育て支援を実施し、安心して子どもを育てられるまちづくりを目指します。

重要業績評価指標 (KPI)：「子育て環境の充実」に対する満足度（5 点満点）

3.5（5年後）

(具体的な事業)・保育環境充実事業
・放課後児童対策事業

③地域における子育て環境の充実

石岡市で進展している少子化に伴い、地域における、子育て環境の維持が課題となっています。各地域における身近な場所での子育て環境の充実を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)：「子育て環境の充実」に対する満足度（5 点満点）

3.5（5年後）

(具体的な事業)・地域遊び場充実事業

《検討施策》

○豊かな自然環境を活かした子育て環境の充実

石岡市の地域資源である豊かな自然を活かした体験活動など、子育て環境の充実を推進します。

4) 教育環境の充実

①特色のある教育の充実

児童生徒が「生きる力」を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体を身につけ、「未来の担い手」としての育成に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：いきいきプラン事業年間実施回数：250 回

(具体的な事業)・学校いきいきプラン推進事業
・語学指導事業
・小中学校コンピュータシステム整備事業
・低所得世帯を対象とした学習支援

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心して心豊かな暮らしを守る

(1) 講ずべき施策の基本的方向性

1) 生涯現役の推進

石岡市も全国的な高齢化の進展に伴い、今後高齢者が大幅に増加することと推定されています。高齢者の皆様は、経験豊富で現役世代では知りえない知識を多数持っており、高齢者の皆様が活躍できる場を作ること、少子高齢化社会の中でも引き続き活力ある社会が維持できるものと考えます。このため本市においては健康な高齢者が活動できる場の創出支援に取り組みます。

2) ふるさと愛の醸成

古くは常陸国の中心地として栄え、商業都市として発展してきた石岡市は、霞ヶ浦と筑波山を有するなど歴史と自然を同時に楽しめるまちです。しかし、市民にとっては日常の風景となっており、この自然や歴史の偉大さに気づきにくい状況となっています。このため、石岡市の歴史や文化を知る機会を増やし、本市の魅力再発見を促す取り組みや戦略的な情報発信を推進します。

3) 地域で安心・安全な生活環境を維持する

本市においても人口減少の進展に伴い、集落の小規模化が進んできています。これら集落の生活環境を維持する取り組みを進めるほか、交通安全対策や防犯対策など市民が安全に安心して生活できる環境を整える取り組みも推進します。

4) 協働の推進

核家族化の進展に伴う子育て家庭の負担増大や独居老人の増加など地域コミュニティの活性化が課題となっています。このため地域内の人と人のつながりを深める取り組みを推進します。

5) 行財政改革の推進

進展する少子高齢化と人口減少に伴い本市の財政事情は厳しくなることが想定されます。市民の皆様にとって必要な公共サービスを提供しつつ、行財政改革にも積極的に取り組んでいきます。

(2) 数値目標

指標名	指標の説明	単位	現状値	目標値
要支援・要介護認定者率（H31年度）	65歳以上高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合（H26：16.1%）	%	18.1 (H31見込値)	17.1
現在の場所に住み続けたい市民の割合	現在の場所に住み続けたい市民の割合	%	75	80

(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

1) 生涯現役の推進

① 高齢者の社会参加の充実

高齢者が生きがいをもって現役として過ごせるよう社会活動に参加しやすくするなど、活動機会の拡大支援に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：生涯現役プラチナ応援カード登録者数
1,792人 (H26) → 7,500人 (5年後)

(具体的な事業)・生涯現役プラチナ応援事業

② 介護予防の取り組み

高齢者が自立した生活を送れるよう、要介護等の状態になることを防ぐ介護予防の観点から、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)：シルバーリハビリ体操指導士3級養成者数
63人 (H26) → 138人 (5年後)

(具体的な事業)・地域支援事業

- ・シルバーリハビリ体操指導士養成事業
- ・在宅老人サービス事業
- ・地域包括支援センター運営事業

2) ふるさと愛の醸成

① ふるさと学習の推進

全国に発信できる石岡市の魅力を市民が実感できる、「地域の魅力再発見」に関するイベントの開催や小中学校における校外学習等への取り込みなどを実施します。

重要業績評価指標 (KPI)：ふるさと検定のテスト平均点：55点 (5年後)

(具体的な事業)・地域の魅力再発見事業

- ・ふるさと学習推進事業
- ・常陸国分尼寺跡の活用

《検討施策》

○ 地域資源を活かしたふるさと愛の醸成

石岡市には自然や歴史文化など、豊かな地域資源があることから、地域資源の魅力の向上を図り、市民と共有していくことが必要です。瓦塚遺跡や舟塚山古墳周辺の整備を進め、地域の魅力向上を図ります。

3) 地域で安心・安全な生活環境を維持する

①地域の拠点づくり

地域の世帯数や高齢者の割合などに応じ、地域の方々が気軽に集まり、憩える場所や定期的な移動販売などが立寄る、公民館や集会場などを活用した「地域の拠点」づくりに取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）：新規地域の拠点件数：5件（5か年分の累計）

- (具体的な事業)・地域の拠点づくり事業
- ・ふれあい拠点の検討

②公共交通の検討

また、深刻化する環境問題に配慮し、交通面における環境負荷を軽減するため、鉄道やバス等の公共交通機関の充実に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）：市内主要公共交通機関

利用者数（1日当たり）：8,000人（5年後）

- (具体的な事業)・地域交通対策事業
- ・高浜駅周辺の利便性の向上

③買い物弱者対策

高齢化社会の到来を踏まえ、移動制約者や交通不便地域の方々等の買い物環境を整え、地域の生活環境の維持を図ります。

重要業績評価指標（KPI）：市内主要公共交通機関

利用者数（1日当たり）：8,000人（5年後）

- (具体的な事業)・地域交通対策事業
- ・交通弱者状況調査
 - ・買い物弱者対策の検討

④安全安心なまちづくり

少子高齢化及び人口減少社会の到来を踏まえ、地域で安全・安心に生活できる環境の維持や充実に努めます。

重要業績評価指標（KPI）：交通事故発生件数（千人あたり）：

3.60人（H25）→3.24人（5年後）

刑法犯認知件数（千人あたり）：

11.99(H25)件→10.79件（5年後）

- (具体的な事業)・交通安全施設整備事業
- ・安全・安心まちづくり推進事業
 - ・特定空き家対策事業
 - ・防災対策関連事業
 - ・消防救急、消防団等の充実

⑤公共インフラの適切な管理

生活道路や幹線道路の整備・維持補修を行い、生活の利便性の向上・環境の改善を図ります。また、既存の下水道施設及び農業集落排水施設、上水道等の予防保全的な管理と計画的な改修に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）：計画的な改修を実施する。

（具体的な事業）・道路橋梁の維持管理

- ・公共・特環下水道事業
- ・上水道の維持管理

《検討施策》

○安全安心のPR

石岡市は津波や火山による災害の恐れがなく、また、県をまたぐ大規模な河川もないことから、大規模な災害が比較的少ない環境にあります。災害に対する備えを十分に実施し、安全安心な市のPRに取り組みます。

4) 協働の推進

①協働のまちづくり

少子高齢化の進展や人口減少など社会情勢が大きく変化するなか、多様化する市民ニーズにこたえていくため、市民・団体・事業所・学術機関等と市が連携、協力したまちづくりに取り組みます。また、地域の高齢者と地域の子育て世代との交流など、地域内の住民が交流し、絆を深める事業に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）：市民活動を実施している団体の数

110 団体 (H26) → 120 団体 (5年後)

（具体的な事業）・協働まちづくり推進事業

- ・地域の拠点づくり事業（再掲）
- ・地域交流推進事業

《検討施策》

○学術機関との連携

市内や県内にある大学施設との連携した取り組みを進め、魅力的な街づくりを推進します。

5) 行財政改革の推進

①公共施設等総合管理計画

公共施設等の現況を様々な角度から整理・分析した上で「公共施設白書」を作成し、その結果を基に、公共施設等の有効活用と改善を図る「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点から、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を推進します。

重要業績評価指標（KPI）：石岡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設
計画の策定（H31年度）

（具体的な事業）・公共施設等総合管理計画の策定と推進

②健全な行財政運営

限られた予算と人員で最大限の効果を上げられるよう、職員の資質向上を図るとともに、行財政改革大綱に基づき、持続可能な行財政運営の確立を進めます。

重要業績評価指標（KPI）：石岡市行財政改革大綱実施計画の達成率 80%（5年後）

（具体的な事業）・行財政改革の推進

・財政健全化の取組